

岡山県高P連 会報

発行：岡山県高等学校PTA連合会

事務局：〒700-0824岡山市北区内山下1-14-19 / TEL：086-234-1640 / FAX：086-234-1835

URL：http://www.okayama-koupren.jp / E-mail：okayama_koupren@ybb.ne.jp

第64号

戦後七十年を迎え 「一意専心 磨斧作針 未来圏へのインスパイア」

岡山県高等学校PTA連合会会長
岡山地区連合会会長

川上 俊久



平素は、学校PTA活動並びに本会へのご支援を賜わりありがとうございます。本年は9年ぶりの全国高等学校PTA連合理事並びに中国・四国地区高等学校PTA連合会会長を務め、関係各位へと改めて本紙にて、ご挨拶申し上げます。

さる8月11日、先達会員のご功労も礎に65周年を迎えました。皆様方には魅力ある活動へ向けた更なるご支援をお願い致します。また小川浩基実行委員長をはじめとして9年ぶりに運営致しました岡山大会のご来賓、ご出演、ご参加者各位、とりわけ笑顔と感動

で会場をあたたくお包みいただいた竹内昌彦先生へ心より御礼申し上げます。

最初に戦後70年を迎え、平和の絆を結ぶ教育推進をお願いします。20年前の政府主催「戦後50年を記念する集い」で意見交換したインドネシア代表青年に「過去に学び、未来に責任をもとう」と私も教えられました。宮沢賢治が「ああ諸君はいま、この颯爽たる諸君の未来圏から吹いて来る透明な風を感じないのか」と遺すように、高校生は結果や過去を不安がらずに平和な未来に向き合ってください。幸い10月募集も始まる奨学金返済のない文部科学省のトビタテ留学JAPANプログラム高校生部門も拡充。ぜひ平和の絆を世界中で結んで下さい。

さて「恩師との出会いで今の私がある」と話された村上雅人芝浦工業大学学長

が「凡庸な教師はただ喋るだけ。よい教師は説明する。優れた教師は自らやってみせる。一流の教師は学びの心に火をつける」とのW・A・ウオードの名言の紹介を全国大会でもなさいました。保護者に優秀はないものの心に火を点ける側でいたいものです。私も昨年、「自信と自尊心」の心根と「鈍感力・忍耐力・吸収力・表現力」を個性に美意識を伸ばす青年とTV番組で共演しましたが心に火を点けられる側の向学心の要素として何が必要でしょうか。

まず夢を叶える楽しさの経験です。生業の大変革時代の新たな問題解決教育や能動教育を通じたキャリア教育推進が今こそ重要です。併せて「この恩師、この親あつてこそ私」と竹内昌彦先生が教えた信頼感です。「やってみせ、言ってみせてやらねば人は動かし。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。やっていく姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず」と言うように個別で認め、ご家庭や学級や部活で尊い絆の構築に時間を

かけていただくようお願いいたします。最後に由緒ある学校同窓会様とは別に、顧問委嘱を発展させた役員ご退任後の後援組織化をこの機会にお奨めできれば幸いです。仮称「PTA卒友会」を後援機関と規定できれば、人格なき団体かつ単年度役員が故の補強にもなり、長期協議や周年行事、役員再登用にも有効です。ついては新規チャレンジ事業予算もございませぬ。先進PTA訪問等による貴会の安全安心化や環境改善、財務、雇用適正化の一端を本会としても果たさせていただきますようお願い申し上げます。併せて県内連携が更に豊かになるよう、未入会の県内高等学校PTA様へのご案内も引き続きお願いいたします。

「大人として、先輩として、PTAとして」

備北地区連合会会長 林 司朗

みなさんこんにちは、日頃のPTA活動ご苦勞様です。

この度、備北地区PTA会長に就任いたしました、新見高校PTA会長の林です。

先日、新高祭体育の部が開催されましたので、行って参りました。生徒たちは日頃鍛えた力を存分に発揮するとともに、短い期間にもかかわらず、会場準備、看板の作成、応援合戦など大変すばらしい出来栄でした。

今後、PTA活動にあたり、微力ながら皆さんと共に頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

何事にも一生懸命に取り組み生徒たちの姿を見なが

「ともに学ぶ」

旭東地区連合会会長 松 森 誠 司

本年度より、西大寺高等学校PTA会長、旭東地区PTA連合会会長を務めさせて頂くことになり大変光栄に思っております。今の子供たちを取り巻く環境は、携帯等のSNSの発展と同時にさまざまな情報が簡単に手に入る便利な時代となっているその反面、有害な情報もすぐに入手できるという複雑な状況だと思います。私たちが経験したことのない環境の中で子供

たちは、何を手にいれ、何を失っているのでしょうか。子供たちは無限の可能性を秘めています。そんな子供たちをしっかりと見守り、私たち大人も子供たちと共に学びながら、それぞれの将来の夢をつかめるようにしっかりとサポートしていきたいと思えます。そのためにも先生方と保護者の交流を深め、絆を強めていきたいと思います。

西大寺高校は、創立110年

「楽しい保護者会」

備西地区連合会会長 藤 原 誠

岡山龍谷高校の保護者会会長として二年目を迎え、備西地区連合会会長を務めさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

私は楽しい保護者会を目指して活動をさせて頂こうと思っています。子供達への側面支援はもちろんですが、保護者の皆様の協力的な活動は不可能です。OBになっても当時の

目を迎える歴史と伝統ある学校です。平成25年度からは、グローバル化に対応出来る人材の育成にチャレンジし、『FIND YOUR DREAM AT S

AIDAJI(夢に向かって共に歩こう)』を新たな合言葉として掲げ、先生と子供たちが一緒になって頑張っています。また、西大寺高校の桜は年に2度、春と秋に咲くと言われており、私たちは、秋桜祭で花開く子供たちをとても楽しみにしています。

楽しい思い出が沢山あるのだと思います

宗門校である本校は京都

の西本願寺を中心とした龍谷総合学園の加盟校です。宗教教育を行う中に「命の大切さ」「感謝の心」をもとに教育活動を行っています。私たちも親として一人の人間として「利他の精神」を持ち保護者会を通じて出会った方々との縁に感謝出来ると思います。

「保護者の役割」

倉敷地区連合会会長 町 田 光 一

本年度、県高等学校PTA連合会倉敷地区会長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。皆様のご指導をいただきながら、微力ではございますが、精一杯務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

現在は何事においてもスピードが速く、私たち大人もそして子供達も消化不良のまま進んで行っているのではないかと思えます。機器の発達によってFace

bookのようなSNSによるコミュニケーション手段は非常に多くなっています。反面、人対人の会話が少なくなり、心のつながりが弱くなり、心づなが弱くなっています。そして、あらゆるコミュニケーションにおいての人間関係は、どんどん稀薄になってきているのではないかと感じます。

「継続」

備南地区連合会会長 藤 原 恭 介

「継続は力なり」ということばがありますが、学校生活、社会生活において最も大事なことでないでしょうか。天才と称されるスポーツ選手やアスリートも挫折、失敗を経験したとき、努力をやめず、継続したことにより、成功をつかんでいるはずで

す。ながらに天才はなく、日々の基本練習・学習を積み重ねが大切なことであります。日々、なんでもないことでも毎日、つづけていくのにも努力や我慢が必要ですが、あきらめない気持ちで継続することにより、成功をつかめる心や自分を育てていき、先人から学び、自分のスキル

るからこそ、我々保護者はしっかりと子供を見つめ話をしていくことが大切ではないでしょうか。子供を一人格として会話をすることにより、子供たちは必ず自分自身で自分の道や夢を見つけてくれることでしょう。

PTA活動にはいろいろな面がありますし、各高校の方針もそれぞれではありますが、高校生活を通して子供達が人として成長し、そして夢を語る事ができるように、学校、先生方を少しでもサポートしていただけるように活動してまいりたいと思っております。

にしていくことが、大人になつていくことだと思えます。革新や改革も必要ではありませんが、基本の繰り返しを継続していき、根の深い木になつていき、これから先の長い人生の形成をして、その人なりの幸せをつかめますよう祈念申し上げます。



平成27年度岡山県高等学校PTA連合会及び安全互助会総会報告

【講演】

平成27年6月18日(木)
ピュアリティまきびにおい
て開催しました。

「教育に対する大きな期
待に応えられるよう頑張っ
ていきたい」との小川会長
の挨拶に続き、岡山県高等
学校PTA連合会功労者表
彰(表彰状11名感謝状94名)
を行い、次に平成26年度事
業報告・会計決算報告・監
査報告、安全互助会につい
ての説明、平成27年度の
役員を紹介し、事業計画
(案)・会計予算(案)を協
議しました。



も論語朗誦を行っていま
す。論語には自己を高めた
会と調和して生きていくた
めの智慧が多くふくまれて
おり、現代社会をよりよく
生き、諸問題を解決するヒ
ントが随所に見られ、閑谷
学校の教えは「教育県岡山」
の大地となっています。

「教育に対する大きな期
待に応えられるよう頑張っ
ていきたい」との小川会長
の挨拶に続き、岡山県高等
学校PTA連合会功労者表
彰(表彰状11名感謝状94名)
を行い、次に平成26年度事
業報告・会計決算報告・監
査報告、安全互助会につい
ての説明、平成27年度の
役員を紹介し、事業計画
(案)・会計予算(案)を協
議しました。

本年4月、日本遺産第1
号に認定された旧閑谷学校
の歴史を、教育という観点
から話しをしてくださいま
した。

「国づくりは人づくりか
ら」という理念で創建され
た閑谷学校の講堂では、今



平成27年度 役員

会長

副会長

監事

- 川上 俊久(岡山一宮P)
- 黒瀬 一雄(私学保護者会P)
- 赤木 隆(岡山一宮P)
- 藤原 恭介(玉野商業P)
- 町田 光二(清心女子P)
- 林 司朗(新見P)
- 岡 悦宣(山P)
- 松森 誠司(西大寺P)
- 藤原 誠(岡山龍谷P)
- 山本 広文(岡山県美作P)

功労者表彰受賞者

敬称略

表彰状受賞者(11名)

- 吉田 満岡(山芳泉)
- 藤井 真里(岡山商科大附属)
- 杉本 恵美子(岡山商科大附属)
- 青山 浩司(西大寺)
- 内山 兼三(岡山学芸館)
- 河野 秀樹(倉敷商業)
- 田中 稔井(原)
- 池田 靖勝(山)
- 中村 聡(山)
- 高崎 恵子(岡山県作陽)
- 山本 隆之(岡山県作陽)

感謝状受賞者(94名)

- 武田 浩一(岡山朝日)
- 田中 照章(岡山朝日)
- 井藤 公量(山操山)
- 斎藤 智子(山操山)
- 倉橋 益美(山操山)
- 喜多嶋 友子(山操山)
- 小泉 真(岡山大安寺)
- 榎尾 卓己(山芳泉)
- 奥村 勉(山芳泉)
- 石原 清徳(東岡山工業)
- 佐藤 秀三(岡山商業)
- 阿部 秀樹(山南)
- 井上 高行(高松農業)
- 山下 てるみ(岡山商科大附属)
- 各務 暁子(岡山理科大附属)
- 内藤 宏(岡山理科大附属)
- 北野 佳永子(岡山理科大附属)
- 丹原 一二(岡山理科大附属)

| | |
|---------------|-----------------|
| 大江 安山(陽女子) | 井上 小白(倉敷工業) |
| 田中 千種(水島工業) | 永松 潔和(川崎医科大学附属) |
| 大 江 靖子(山陽女子) | 猪木 直樹(玉島) |
| 石井 誠(山陽女子) | 武田 信子(鴨方) |
| 岡田 かつり(就実) | 阿藤 美穂子(笠岡) |
| 堀 非晶子(就実) | 宮本 隆太郎(笠岡) |
| 荻野 由美子(明誠学院) | 大本 雅之(笠岡商業) |
| 森原 幸恵(明誠学院) | 仁科 和美(笠岡工業) |
| 石川 美雪(明誠学院) | 佐藤 利枝(非原) |
| 今福 美智子(明誠学院) | 片岡 達志(非原) |
| 石井 典子(明誠学院) | 鳴川 朋子(非原) |
| 長尾 厚城(岡山) | 川上 直哉(非原) |
| 青井 久美(瀬戸) | 房野 泰行(非原) |
| 吉延 恭子(瀬戸) | 中谷 庄吾(金光学園) |
| 大森 文生(瀬戸) | 沖野 浩一(おかやま山陽) |
| 横山 圭介(岡山学芸館) | 金本 真由美(おかやま山陽) |
| 大養 嘉代(岡山学芸館) | 吉田 百合子(おかやま山陽) |
| 岡田 幸祐(吉備高原学園) | 白戸 亜希子(おかやま山陽) |
| 三宅 浩子(倉敷鷺羽) | 吉岡 行博(興譲館) |
| 吉田 里美(倉敷鷺羽) | 竹田 文恵(岡山龍谷) |
| 吉原 久男(野光南) | 藤井 真弓(岡山龍谷) |
| 瀧本 則子(野光南) | 守安 直美(高梁城南) |
| 藤原 麻玉(野光南) | 小林 一弘(新見) |
| 今岡 博美(玉野商業) | 藤 明玲(新見) |
| 横山 美加(倉敷青陵) | 林 誠新(新見) |
| 浅沼 健一(倉敷天城) | 下田 泰久(新見) |
| 國富 晴美(倉敷天城) | 梶 並正(和総社) |
| 楠瀬 明子(倉敷) | 河原 雅子(宇治) |
| 諏訪 幸子(倉敷) | 大森 一平(高梁日新) |
| 忠岡 真理子(倉敷) | 山下 正己(岡山県共生) |
| 中塚 亜希子(倉敷) | 武本 吉正(津山商業) |
| 片山 祐子(倉敷古城池) | 治郎 丸栄(津山商業) |
| 西岡 紀美子(倉敷中央) | 船引 明美(津山商業) |
| 高津 由香(倉敷中央) | 赤木 都貞(津山) |
| 玄馬 久美(倉敷中央) | 三牧 キヨミ(勝山) |
| 真崎 一彦(倉敷工業) | 富坂 泰人(林野) |
| 山神 久代(倉敷工業) | 國政 博史(勝山) |

第57回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会(岡山大会)報告

平成27年7月10日(金)

第57回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会を岡山市民会館において開催しました。

この大会は大会テーマ「つなごう子育て 結ぼう手と手」 晴れの国からも



「つなごう子育て 結ぼう手と手」 晴れの国からも んげー夢をー」のもと、1650名を超える

のプログラムを通じて学びと気づきを深め、活発な活動を展開していただきました。」と挨拶がありました。

涙ありのお話しに会場は涙し、深く感動して午前の部が終了しました。昼食時には、舞台スクリーンで岡山県の緑豊かな紹介映像・保護者による演奏を聴きながら地元産食材を豊富に取り入れた参加者から好評のお弁当で休憩をとりました。

る会員のご参加をいただき、総司会の岡田かおりさん(就実高校前PTA会長)のさわやかなアナウンスではじまりました。

開会式の後『私の歩んだ道』見えないから見えたもの』と題して岡山県立岡山首学校講師・社会福祉法人岡山県視覚障害者理事竹内昌彦先生に講演を頂きました。



開会式では、「ようこそ晴れの国岡山へ」と岡悦宣大会実行副委員長の開会のことばで始まり、小川浩基大会実行委員長の歓迎の挨拶に続き、全国高P連佐野元彦会長より「連合会の役割は全国さまざまな情報や事例を提供することであり、本大会で提供される多く

先生のお話は、ご自身の視覚障害者としての経験から障害者を取り巻く環境の問題点、障害者との係わり方、「あなたの命はあなた1人の命ではないんです。」と命の大切さを語られました。また、ハンディキャップをばねにされた笑いあり



高校生 生産物販売

また、高校生による生産物の販売も好評で大会を盛り上げてくれました。

午後からの高校生による活動発表は、岡山県立高松農業高校

就実高校バトン部 郷土芸能部 岡山県立岡山南高校の吹奏楽部



による演奏・演技がありました。勇壮な和太鼓、優美なバトンとワーリング、楽しく会場と一体になった吹奏楽、素晴らしい高校生の姿に参加者は胸を熱くしました。

続いて研究協議の発表では香川県高等学校PTA連合会 小林康則副会長、岡山県高等学校PTA連合会 青山浩司前副会長の両氏を議長に、3つの研究発表が行われました。





「生徒指導とPTA」
『忍の一字で見守る』
と題して広島県立松永高等
学校 山元龍一PTA
顧問より発表がありまし
た。
最後に開催県を代表し
て

「社会貢献活動とPTA」
『保護者、生徒、地域が協
力した社会貢献活動』
〜虹の架け橋プロジェクト
〜を中心として〜
と題して、岡山県立岡山
工業高等学校 竹原多美
子奨学会会長より発表が
ありました。

「進路指導とPTA」
『子どもの背を押す』
育友会
NPO法人倉吉鴨水館
の設立をめぐる〜
と題して鳥取県立倉吉東高
等学校育友会 大津理恵前
会長より、発表がありまし
た。

東日本大震災復興ポラン
ティアを契機に始まった
「虹の架け橋プロジェクト」
は被災地復興支援、心の
通った交流と、地元奉還町
商店街の活性化を図る活
動です。保護者・生徒・
地域が一体となり社会貢
献活動を行っている様子
を竹原会長は熱心に発表
されました。



受付



岡山駅では



会場



お弁当



バスで来られる方も



次期開催県 香川県PR

それぞれの発表は参加者
の興味、関心のある内容で、
その後の質疑応答では活発
な研究発表となりました。

閉会行事では、中国・四
国地区高等学校PTA連合
会大会 小川浩基実行委員
長の感謝の挨拶に続き、次
期開催県の香川県高等学校
PTA連合会 泉 満会長
が熱い想いで来年の参加を
呼びかけました。終わりに、
「今、岡山は桃の季節を迎
えました。」
と武田信子
大会実行副
委員長の岡
山のPRを
入れた閉会
宣言で、全
日程を終了
し、岡山大
会は幕を閉
じました。

前日準備、大会当日、早朝より総勢180名の係
員の方々の力で、岡山大会に参加いただきました
皆様に飲んでいただける大会となりました事を心より
感謝申し上げます。
(事務局)



最後は、事務局員の方々
をはじめこの大
会を支えてくだ
さった全ての皆
様に心よりお礼
申し上げます。
ありがとうございました。

閉会行事では、中国・四
国地区高等学校PTA連合
会大会 小川浩基実行委員
長の感謝の挨拶に続き、次
期開催県の香川県高等学校
PTA連合会 泉 満会長
が熱い想いで来年の参加を
呼びかけました。終わりに、
「今、岡山は桃の季節を迎
えました。」
と武田信子
大会実行副
委員長の岡
山のPRを
入れた閉会
宣言で、全
日程を終了
し、岡山大
会は幕を閉
じました。

第57回中国・四国地区高
等学校PTA連合会大会
去りました。

当日は、竹内昌彦先生の
ご講演に皆が感銘を受け、
高校生の皆さんの発表を満
喫した後、鳥取、広島、岡
山各県の素晴らしい取り組
みの発表と有意義な研究協
議が行われ、まさに今大会
のテーマ「つなごう子育て
のチーム」にふさわし
い大会にすることができま
した。そして、この大会で
得たものを今後のPTA活
動にしっかりとつなぎ、生か
してくださる高校生の皆さ
んの、妥協を許さぬリハー
サルの姿を見て、不安な気
持ちは感動の涙と共に流れ
ました。

しかし、笑顔できびきび
と準備を進めてくださる各
担当者の姿、アトラクショ
ンとして最上太鼓、バトン
トワリング、吹奏楽を披露
してくださる高校生の皆さ
んの、妥協を許さぬリハー
サルの姿を見て、不安な気
持ちは感動の涙と共に流れ
ました。

「結ぼう手と手」
岡山大会実行副委員長 岡 悦 宣
美作地区連合会会長

第65回全国高等学校PTA連合会大会(岩手大会)報告



平成27年8月20日(木) 21日(金) 岩手産業文化センター・盛岡アイスアリーナを会場に開催され、全国から約9500人(岡山県から130名)が参加しました。大会のテーマを「未来圏からの風をつかめ!」(新時代を担う君たちと共に)とし、宮沢賢治の詩「生徒諸君に寄せる」の文言を引用し、進むべき未来へ行動する事を感じ、奮い立ってほしいとの思いのもと開催された。

開会式では「文部科学大臣表彰」に続き、岡山県からの受賞者は次のとおりです。

●表彰式

開会式終了後、文部科学大臣表彰に続き、岡山県長表彰(個人・団体、役員等)が行われ、岡山県からの受賞者は次のとおりです。

【優良PTA文部科学大臣表彰】
県立岡山工業高等学校
奨学会



【全国会長表彰】
*個人
河野 秀樹 氏
(県立倉敷商業高等学校 前PTA会長)

【優良PTA文部科学大臣表彰】
岡山県からの受賞者は次のとおりです。

中村 聡 氏
(県立蒜山高等学校 前PTA会長)

*団体
倉敷高等学校PTA
県立井原高等学校PTA

*役員
小川 浩基 氏
(岡山県高等学校 PTA連合会前会長)

◆基調講演

講師 芝浦工業大学学長
村上 雅人 氏
演題 夢高くして足地にあり



岩手県出身の村上氏は、高校時代に留学した経験や、超電動工学、教育の役割について語られた。

教育の大切さは、世界共通の認識であり、教育によって人も国も変わる。自分にとって、尊敬できる先生に出会った事が最も大切な事であった。教師の役割は、生徒の学びの心に火を付ける事、もう一つは夢を

与えることである。若い人が夢と希望を持ち、志を持つことが大切である。また、物欲は限られているが、頭の中は無制限である。人は宇宙の中の小さな存在だが、思いは宇宙の続き、無限の可能性を秘めている。無限に思いを寄せることが出来る人間は、素晴らしい。と語られた。



高校生の発表

◆記念講演

講師 映画監督
大友 啓史 氏
演題 アドリブを生きる力

「るろうに剣心」龍馬伝」等数々の作品を手がけられた大友監督は、その経験から現場の教育に生かし、子どもと向き合う時の参考になればと講演された。

撮影中に思いがけないことが起こった時、どう解釈して、その場から逃げることではなく、今何をすべきかを考えると、違ったアイデ

●全国単位PTA広報紙展示
*倉敷高等学校
「樟葉」

*県立真庭高等学校
「PTA会報」



なお、来年度の第66回大会は、平成28年8月24日(水)〜26日(金)に千葉県(千葉市幕張メッセ)で開催されます。

メインテーマ
「再発見!愛」



【東日本大震災】 義援金活動の継続

東日本震災が発生してから4年以上立ちましたが、復旧・復興は長期に渡ると考えられます。全国高等学校PTA連合会では義援金を募る活動を継続しています。当連合会におきましても支援を継続いたしますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。